

平成29年度第2回境港市男女共同参画推進審議会 会議録（要旨）

次 第

■ 日 時：平成30年2月23日（金）14：00～15：23

■ 場 所：境港市役所 第1会議室

■ 日 程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 男女共同参画に関する市民意識調査の結果について《資料1》

(2) 第3次境港市男女共同参画推進計画改定概要（案）について《資料2》

4 そ の 他

(1) 平成28年度実施状況報告書について

(2) 平成30年度境港市男女共同参画推進審議会スケジュール（案）《資料3》

(3) 次回日程について

5 閉 会

■ 出席者（敬称略）

高木 敏行、澁谷 博子、白井 靖二、片山 彦志、入江 和行、松本 町子、
佐古 廣、岩間 悦子（8人）

■ 欠席者（敬称略）

金津 唯可、渡部 斗支子（2人）

■ 会議録

1 開 会（沼倉地域振興課長）

2 会長あいさつ（高木会長）

3 議 事

(1) 男女共同参画に関する市民意識調査の結果について

(2) 第3次境港市男女共同参画推進計画改定概要（案）について

事務局（人権政策室長） 《資料1と資料2を説明》

事務局（地域振興課長） 調査結果報告書をホームページに掲載するということが喫緊の課題になってくると思いますので、羅列の仕方ですとか、今回初めて「性別のない」という項目を、皆様のご意見でも受けさせていただきましたので、それをどのように表したらよいかということ、また最後の自由記述の部分につきまして、31年度からの「女と男とのいきいきプラン」を検証するための資料ということだけで、ホームページの掲載まではいいいんじゃないか、というようなところを最初にご協議いただけたらと思います。

会 長 お聞きいただいた通りでございます。

事務局（地域振興課長） 結果は結果として、数字的なものは報告させていただきますが、私どもが気になっておりますのが、「性別不明」という記述が適当なのかどうか、あるいは「無回答」、ご自分でそういう形では書かれていませんので。

会 長 ご意見がありましたらどうぞ。

委 員 「性別不一致」と言いますとね、どのような表現をするのかということがありましたよね。知らない人が、これだけを読むとそうとられてしまうので、「無回答」で、あえて「性別不一致」と書く必要はないんじゃないかと。

事務局（地域振興課長） 基本となる答えを紹介するのが、1ページや2ページで、「無回答」という項目で、「1」という数字を挙げさせていただくということで。

会 長 よろしいでしょうか。

委 員 趣旨はよろしいかと思いますが、ただ、「無回答」という表現では、問2の表以降、意味はわからないと思います。「性別無回答」とした方が良いと思います。

事務局 わかりました。

会 長 それでは、「性別無回答」ということで。

事務局（地域振興課長） 有難うございました。そうしますと、1ページの回答数の性別の欄にも「性別無回答」で1を挙げさせていただいて、合計が328あったということ。それから、2ページの年齢階層の欄にも「性別無回答」ということで、回答数が1あった。それから3ページ、4ページのあなたご自身のことについてで、「性別不明」と記述しているものは、「性別無回答」という記述をさせていただくということで、よろしいでしょうか。

委 員 （ 「はい」と呼ぶ者あり ）

事務局（地域振興課長） 有難うございます。

会 長 それでは、「性別無回答」と記述させていただくということになりました。そのほかございますか。

委 員 38ページ、問16の1、2ですが。この数値はどうなっているんですか。男性、女性、全体とあるんですが、縦を足して100パーセントにならないというのは、どういうことなんでしょうか。例えば、女性が仕事生活の割合で、63.1パーセント、次が53.6パーセント。全体も足して100パーセントにならない。同様に16-2も、特に女性の方の数値がおかしいのではないかと思います。

事務局（地域振興課長） 表す方法としては、女性の回答を179人いただいているので、女性の中から、「仕事が0」「生活が100」が何人いて、何パーセント、という形にさせていただきたいと思います。ここの「男性」「女性」「性別無回答」の方について、改めて数字の確認をし、訂正させていただきます。

委 員 17ページ1番右の「無回答」、たぶんこれは就業されていない方が無回答だったと思うのですが。そういった場合、無回答として出すのがいいのか、無回答の欄はなく、「就業されている方にお聞きします」という問いなので、回答のあった方を分母にして割合を示した方が、データとしては、見る人にとってわかりやすいのではないかなと思います。

関連して、この調査項目の審議の時には、そこまで思いが至らなかったのですが、こうやって改めて回答を見ると、年齢構成が60代以上の方が5割以上いらっしゃると思うので、こうやって「仕事」のことだけを聞くと、5割以上の方が無回答になる項目がいくつかあります。そうすると、この年齢抽出方法でいいのか、この調査項目でいいのか、こういったことを聞いて調べるのがいいのか、といったようなことも次回は改めて検討が必要なのかなと思いました。

事務局（人権政策室長） 委員からご意見いただきましたように、やはり就業されている方を分母にし、それぞれの項目について割合を出したほうが、見る人にとってわかりやすくなると思います。

事務局（地域振興課長） 境港市の人口構成上、按分をかけていっても多分60歳、70歳の方のパーセンテージはすごく増えてくると思うので、全く男女共同参画という視点と、就業している方に対するアンケートが別だったら良かったと思います。そこのところが分けられなかったというところが1つ、そして問17の前に、「就業していますか、していませんか」という質問項目があったら、確実に「就業している」という方のご回答が、問17になったのかなと。委員から言われてその通りだと思います。それでは、問17のこの無回答という部分に

についてのパーセンテージは。

会 長 どうでしょうか。取ってもよろしいでしょうか。

事務局（地域振興課長） 実際は、そこの担保が取れないんですよね。就業されている方で回答されなかったのか、就業していなかったので書かなかったのか。そうすると、無回答の中には就業されていない方も含む、と書いたほうがいいのかどうか。取りにくいところであるかとは思っています。

委 員 そうすると、無回答の中には、就業されている方とされていない方が含まれている可能性があるということになると、「就業されている方にお聞きします」で、回答のあった方の内の割合ということになるんでしょうか。それならその割合ですよと書いてしまうと。就業しているけれど無回答の方は除いてありますという言い方をしたほうが。50何パーセントという非常に大きな数が「無回答」という形で記載されていると、傾向がかえって見にくくなる気がするのです、そういうふうな形に整理しても良いのではないかと思うのですが。

委 員 表だけ見ると無回答が目立って、パーセンテージは人数が少なければいいけれども。例えば、全体の中の4-1、4-2なんていうのは一番多いわけですから、想像はつくと思うんですよね。

事務局（地域振興課長） それでは「無回答」というところは、「注釈」を加えた上で取る、ということにさせていただいてよろしいでしょうか。

委 員 （ 「はい」と呼ぶ者あり ）

事務局（地域振興課長） 有難うございます。

会 長 そのほかにございますか。

委 員 4ページの間4-1、共働き（事実婚を含む）の状況のところなんです。この前段のタイトルは「共働き」というタイトルでありながら、区分のところでは共働きをしている、というところが「共稼ぎ」になっているのですが。これは、あえて「共稼ぎ」という言葉を選んで区分されているのでしょうか。

事務局（地域振興課長） すみません、アンケートのほうにも1は「共働き」をしているという設問をしておりますので、区分のほうも「共働き」に訂正させていただきます。

会 長 ほかにございませんでしょうか。

委員 大変な調査でご苦労なされたと敬意を表したいと思います。私達がこの調査をした時は、何日もかかった経験がありますので、本当にご苦労なされたと、こんなに詳しくされていたんだなと感心しました。それで、この調査の中で今さらアンケートをしておいて、どうのこうのというのはおかしい言い方かもしれませんが。感想として、35、36ページの働き方でこれだけ詳しく質問がしてあるのは、悪くはないんだけど、一項目ずつ読むとしつこ過ぎて、もう少し簡単にまとまった形に出来なかったのかなと。何か働き方の質問が細かいところまでになるので、答えにくいなと感じたので、感想です。

委員 例えば49ページですが、グラフなどを見ていますと、性別がわからないなど、よくわからないのですが。この表の無回答が68.9パーセントとなっていて、上から全体、男性、女性と見ていくグラフかと思うと、全体を見ないとわからないのですが、どう見ればいいのか。例えば「男性優位の慣習的な組織運営」で、上から20.1が全体、18.9が男性、71.0が女性だろうと思うのですが、無回答の全体の部分が長く、多分これは男性の68.9が影響したと思うのですが、圧倒的に男性が書いておられなかったということですか。

事務局（地域振興課長） 数としてないということです。

委員 ですよ。

事務局（地域振興課長） 先ほどから出ていることなんですが、パーセンテージで表したほうがいいのか、数値、何人という形でお示ししたほうがいいのか、ということもあるとは思いますが。絶対数はもう出ているので、回答者数は何人という形で数値を表して、それから先が全部パーセンテージになるので、じゃあ何人ということになると、あったほうがいいのか。前回の報告書がパーセンテージで示させていただいているということで、今回こういう形で皆様にお示しさせていただいていますが、わかりにくい数字になってしまう場合があるかと思っています。

委員 大きく見ていただくということであれば、概略がわかればいいのかと思うのですが。ただ1つ気になるのは、「無回答」というのは、全く回答がなかったという捉え方でいいのですか。

事務局（人権政策室長） はい。

委員 そうするとそこまで、ということになるのかなと。

事務局（地域振興課長） 設問といたしましては、問22に「進んでいるかどうか」と。進んでいる、進んでいない、わからない、それから全くどこにも丸をつけ

なかった方が無回答となります。その中で政治の場で進んでいないというのに丸を付けられた方にその理由は何ですか、ということで「男性優位の慣習的な組織運営」がまた、男性ならば、女性ならば、それから性別でいうところの無回答の方であれば、という形でお示ししたので、先ほど委員からありましたように、進んでいないと回答した男性の理由に記載がなかったというのが無回答になってしまうと。

委員 無回答というのは、進んでいない内容だけ見るとそんなに難しいことではないかと。恐らくこれは、先ほど委員からもお話があったように最初からずっとアンケートをやっていって、「あー」となっている可能性もあるのではないかと。結果だけ見ると、無回答というものがあると不信感が出てくるのではないですかね。

委員 無回答でこれだけあったということは、設問の仕方がわかりにくかったのか、答えにくい理由があったのか、また次回に向けての検討事項になるかと思うのですが。このグラフが男女別、性別、無回答の方別にグラフにしようと思うと、意図しないところばかりに目がいってしまって、わかりにくくなるので。もう性別抜きでも、進んでいないと答えた人の中でどんな理由が多かったのかが、わかるグラフのほうが良いと思います。

事務局（地域振興課長） そこは別に男女にこだわる必要がないということですか。

委員 こだわってグラフ化しようと思うと、細かな数字になり過ぎたり、違うほうに目がいき、全体的な傾向がわかりづらかったりするのでは。

事務局（地域振興課長） 49ページで言いますと、全体の33.2パーセントの方がどうだったかという示し方をしていますので、いわゆる無回答という部分の棒が伸びているようにならざるを得ない示し方をさせていただいて、いらないところに目がいくということではないかと言うことですね。

委員 これは、あくまでも「進んでいない」と答えた方ですよ、だから全体ですと33.2パーセント、男性が30.4パーセント、女性が35.2パーセントの数字ということですよ。

事務局（地域振興課長） はい。別に全体の統計の中の方がどれを選んだかというほうがわかりやすいと思いますし。

委員 無理に「無回答」を入れなくても。

事務局（地域振興課長） 先ほどと同じですよ。

委員 はずしておいてもいいんじゃないですかね。そのほうが見やすくなるかと思
います。非常に大きな数字で何だろうかと、この「無回答」のほうが正直気にな
りますので。

事務局（地域振興課長） わかりました。先ほどのご提案と同じで、「無回答」の部分は、
はずすということで。有難うございます。

会長 よろしいでしょうか。

委員 先ほども話がありましたけれども、これだけの調査をされて大変だったと思
いますが、せっかくそこまでやっているのもう少しこれを有効に、市民全体
が関心を持って、こういうテーマに取り組めるようなことにならんかなと。た
だ調査をやって終わり、というのはもったいないし公表にも繋がらない。調査
をやっただけでは自己満足になる。

事務局（地域振興課長） いずれにしても、この後ご検討いただきます改定案についまし
ては、調査結果を基にするということになっております。来年度改定したもの
のパブリックコメントも、あくまでもこの調査結果が基になってきます。ホー
ムページの掲載というのは、調査をする段階から、ご回答いただきます皆様にも
そのようにお伝えした上での、調査依頼を差し上げておりますので、調査結
果報告書は掲示させていただき、その掲示方法、PR方法につきましては、皆
様とともに私どもも、また見ていただくチャンスを啓発、周知、広報していき
たいと考えているところです。

会長 いろいろご意見いただきましたので、(1) 男女共同参画に関する市民意識調
査の結果の取りまとめについて、ホームページ等で公開することをご承認いた
だけますでしょうか。

委員 (「はい」と呼ぶ者あり)

会長 有難うありがとうございます。それでは、次に(2) 第3次境港市男女共同
参画推進計画改定概要(案)について、ご質問、ご意見がございましたらお伺
いしたいと思います。

事務局（地域振興課長） 「女と男のいきいきプラン」につきましては、30年度の策定
でございますので、31年度に向け、来年度皆様にご協議いただく際の方
向を示させていただくための案として、本日資料2でお示したところでござ
います。これが大体の方向としてどうかというところを、今日はご協議いた
だきまして、最後に書いてありますように、次年度この方向でまた叩き台を
作らせていただきますので、ご精査いただけたらと思います。

委員 せっかく次の計画を作り上げるだろうと思いますし、さっきの市民調査の中でも、特に改定概要案の1ページの下の方にもあります「女性と男性の認識」に違いがあるような部分ですね。各項目で、確か家庭のところの男女の差がかなり大きくて、とくに30代とか40代のところが結構な数字の幅があったりしたので、私も仕事柄気になりました。そのことがいい悪いということではなくて、そういう部分が、この男女共同参画、市のほうで施策を考えていただく際の参考になるのかなと。

例えば14ページの意識調査のところで見させていただきますと、女性と男性で家庭での場面でですね、どちらかというとな男女平等と思っている30代の男性は、53.9パーセント。ところが、同じ30代の女性のほうは、30.8パーセントしか平等だとは思っておりません。男性は平等だと思っても女性はそうは思っていないとはっきりと出ています。ちょうど家庭の子育てとかも含め、そういう世代のところだと思いますので、こういうギャップがあるという辺りで認識の差にお互いが気付くというか、そういうところも考えながら次のプランの中に入れていただくと、より具体的な施策になるのかなと。ここの数字がすごく差がありましてですね、男性は平等だと思っておりますけど女性はそうではないと逆にそういうことになりますと。ちょうど働き盛りで子育ての大変な時期だと思います。そういうところで差があるよということを、施策の中で触れたりしたら良いかと思えます。

委員 今後のスケジュールを考えますと、この概要が30年度まで、31年度に新しい概要ができると、最終的にはまたこういう概要を作られますか。

事務局（人権政策室長） 概要パンフレットと製本したものは、来年度中の作成を予定しております。

委員 それが出来上がりましたら、啓発というか広報活動でいろいろなところで目につくようなポスター的なものが配付されるといいかなと。職場にしても何にしても、見とってあまりそういうものが目に入らないので、目に入るような活動を啓発としては必要かなと思いましたので検討をお願いします。せっかくいいのが出来ているんだけど、意識調査を見ると知らなかった、という回答が多いですね。だからせっかく立派なものが出来ているものを実践していく中で、市民の目に入るような行動をすると、実際にやっているんだな、という意識を少しは持ってもらえるのではないかなという気がします。

事務局（地域振興課長） 有難うございます。事務局で考えました改定概要案でございますけれど、方向性はこういうことで次年度に向けて進めさせていただいて、またそこからはもう一度調査結果報告書を読んでいただきながら、次の審議会では詳しいご意見をいただき、30年度中に変えていくという方向性で進めさせていただいてよろしいでしょうか。

会 長 よろしいでしょうか。

委 員 (「はい」と呼ぶ者あり)

事務局 (地域振興課) 有難うございます。

会 長 それでは次回の日程に入りましょうか。

4 そ の 他

(1) 平成28年度実施状況報告書について

(2) 次回日程について

事務局 (人権政策室長) 《平成28年度実施状況報告書を説明》

それでは、「4その他」でございます。(1)平成28年度実施状況報告書についてですが、これは昨年9月に皆様に送付いたしましたもので、各担当課が平成28年度の実施状況について、達成できたかどうか報告いただき、まとめたものになります。こちらに関しましては、すでにホームページのほうで公開しております。以上、報告させていただきます。

事務局 (地域振興課長) 審議会から審議会までの時間が今回は長かったので、その間に報告させていただくということで、あらかじめ郵送させていただいたものでございます。続きましてスケジュールにつきましては、次回の日程を資料3で説明させていただきます。

事務局 (人権政策室長) 《資料3を説明》

それでは、「資料3：平成30年度境港市男女共同参画推進審議会スケジュール(案)」でございます。今日の審議会でも方向性も決まりましたので、皆様からのご意見も含め、これをもとに骨子のほうを具体的に決めてまいりたいと思います。

第1回審議会を5月下旬頃に開催させていただいて、その時に具体的に決めていき、あわせて平成30年度の施策推進事業と、平成29年度の実施状況報告についての報告も行いたいと思います。第1回目の審議会を受けまして、叩き台となる計画案を事務局のほうで作成させていただいて、早目に皆様のお手元にお送りするようにさせていただきたいと思います。

続きまして、7月下旬頃に第2回審議会を開催し、事前にお送りした計画案について、皆様のご意見をいただきたいと思います。そこで皆様のご意見等により、修正された計画案を8月に郵送し、皆様に再度確認していただき、確認後、8月下旬にパブリックコメントにかけていきたいと思います。

そして、9月下旬に第3回の審議会を開催し、パブリックコメントの結果の報告と、計画の確定、という進み方でいきたいと思います。そして、先ほど委員さんか

らご質問がありました、計画の製本や三つ折りの概要パンフレットにつきましては、計画確定後に作成したいと思います。具体的な審議会の開催日時につきましては、会長・副会長と相談させていただいて、4月中には皆様にご連絡させていただきたいと思います。以上です。

事務局（地域振興課長） 30年度には改訂版を作成し、31年度から実施いたしますので、このような早目のスケジュールを設定させていただいているところでございます。皆様のご協力方、よろしくお願いいたします。

会 長 その他、事務局から何かございますか。

事務局（人権政策室長） 本日言い足りなかったことやお気づきの点などがありましたら、文書かお電話でご連絡いただけたらと思います。文書の様式は問いません。なお、3月2日の金曜日までに、地域振興課へご提出いただきますようよろしくお願いいたします。以上です。

事務局（地域振興課長） 調査結果報告書ですが、修正も多数ございましたし、皆様方からご意見もいただきましたので、ホームページに公開前に皆様方には先だつてご郵送差し上げますので、ご確認いただいた上で、ホームページに公開させていただきたいと思います。ご了解、ご了承よろしくお願いいたします。

5 閉 会

会 長 大変ですがよろしくお願いいたします。長い間、熱心にご審議いただきまして、有難うございます。本日の審議会はこれを持ちまして終わりにさせていただきたいと思います。長い間、有難うございます。